

圏域	地域の特性	高齢者実態調査からの圏域の特徴的な傾向	高齢者人口 (R2.4/1 現在)	相談対応 件数の概数 (R元年度)	ケアマネジ メント実人数 (R元年度)	ケアマネ 事業所数	施設数	医療機関数 (産婦人科・小 児科を除く)	歯科医院数 ・薬局数	課 題
第1圏域 むさしの	ふじみ野駅東側から荒川土手までの面積の広い圏域。 田畑が広がる南畑地区、駅周辺の高層マンションが多いふじみ野東地区、昔からの地元の家が多い勝瀬地区、住宅が密集し坂が多い渡戸羽沢地区など、様々な地域特性をもつ。大型商業施設ができてから、南畑地区の一部では、若い新住民が徐々に増え、高齢化率が下がっている。大小の河川に囲まれ、水害が起こりやすい地域でもある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1人暮らし」「高齢者夫婦2人暮らし」の割合が最も低い。</li> <li>外出の移動手段は、徒歩が少なく、「自動車(自分で運転)」の割合が多い。運転免許証の自主返納希望で「いいえ」の割合が、やや高い。</li> <li>近所付き合いで「何か困った時に助け合える」など、深い付き合いをしている割合が高く、地域で「たすけあい支えあえるまち」と思う割合が高い。</li> <li>高齢者あんしん相談センターの認知度は、他の圏域に比べ、高い。</li> </ul>	5,313 (22.8%)	1,860	介護予防給付 79 (うち、委託 55)	5	特養 3 老健 2	病院 1 クリニック 6	歯科 3 薬局 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>南畑地区は移動に車が欠かせない。運転免許証の自主返納や身体機能低下で、地域との交流や外出が困難になりやすい。また、大型商業施設ができてから新しい住民が増えたため、新たな連携と支援体制を築く必要がある。</li> <li>住宅密集地区(渡戸・羽沢)は助け合いのできる地域だが、高齢化率の増加や坂の多い地域があるため、移動支援や介護予防対策が引き続き必要である。</li> <li>勝瀬町会は、駅周辺地域は高齢化率が低い、地元の高齢化率は高い。見守りや支援等を行う新たな体制づくりが必要である。</li> <li>大雨による浸水被害の危険地域(南畑・渡戸・羽沢・勝瀬)における要支援者等の把握と必要な協力を行う必要がある。</li> </ul>
第2圏域 ふじみ苑	鶴瀬駅東側から市役所周辺、古い住宅が密集する前谷打越地区にわたる圏域。昔ながらのアパートも多い。 坂が多く、戸建て住宅が密集している中、ところどころに中層マンションが建っている。鶴瀬駅東側は道路の整備は進められ、区画整理後の店舗や住宅の移転はあるが、大型商業施設ができて、人の動きが変わってきている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子どもとの2世帯」の割合が最も多い。</li> <li>他の圏域に比べて「たすけあい支えあえるまち」になっていると思う方の割合が低い。</li> <li>前期男性高齢者で地域づくりの企画・運営(お世話役)で「参加してもよい」と回答した割合が高い。</li> <li>近所の方との付き合いは「立ち話をする程度」の割合が高い。</li> <li>高齢者あんしん相談センターの認知度が低い。</li> </ul>	5,537 (24.7%)	2,226	介護予防給付 39 (うち、委託 34)	5	地域密着 特養 1 特養 1 グループホーム 1 有料老人 ホーム 3	病院 1 クリニック 11	歯科 5 薬局 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区によっては坂が多く、病院への通院や買い物などの移動手段に困っている方が多い。市内循環バスの路線に面していても停留所の場所で不便を感じる。</li> <li>地区社協の活動は古くからあるが、特性に合わせた内容を、地域の方々と一緒に検討する機会を設けていくことが必要である。</li> <li>大型商業施設があるので山室地区の買い物はしやすくなったように思うが、店内が広く、歩ける人でないと利用は難しい。</li> <li>一部の地域で、ゲリラ豪雨や大型台風などの影響により、水害が発生しやすい。要支援者等の把握をするとともに連携していく必要がある。</li> </ul>
第3圏域 えぶりわん 鶴瀬Nisi	ふじみ野駅西口から国道254号線の先(大井方面)まで続くふじみ野西地区と勝瀬西地区、線路西側の鶴瀬西、上沢地区、東側の住宅密集地の上沢地区と面積は比較的狭いが、地域の特徴が大きく異なる圏域。 公団の建て替えに伴い後期高齢化率が最も高い町会と、高層マンションの多いふじみ野西の最も低い町会がある。 鶴瀬駅西口から鶴瀬西地域にかけて広い道路が整備され交通量が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>持家(集合住宅)や公営賃貸住宅に住む方の割合が多い。</li> <li>他の圏域に比べて「75歳以上」の方が多く、また「1人暮らし」と「夫婦2人暮らし」の方がやや多い。</li> <li>外出の手段は「徒歩」、「電車」の割合が多く、市内循環バスの利用は少ない。</li> <li>「近所の方とほとんど付き合いはない」と回答した割合が高い。近所・地域ボランティアの手助けも「何もしてもらいたくない」と回答した割合も高い。</li> </ul>	4,927 (25.8%)	1,713	介護予防給付 100 (うち、委託 60)	4	地域密着 特養 1 老健 1 グループホーム 2 有料老人 ホーム 1	クリニック 9	歯科 3 薬局 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>独居高齢者が多く、高齢化率も後期高齢化率も一番高い地域である。</li> <li>高層マンションの高齢者の割合が高くなってきているが、構造的にも実態把握が困難。住民の近隣関係が希薄でネットワークを構築するのに影響がある。</li> <li>築年数が古い住宅や公園で一人暮らしをする高齢者が多いため、支援が必要な方が増えている。</li> <li>地区社協の活動はあるが、参加する方が多くはなく、個人の要望が多い傾向があり、助け合いのしくみづくりが難しく、地域住民の健康づくり活動等にも、参加したくないと思う人が多い。</li> </ul>
第4圏域 みずほ苑	鶴瀬駅西口の区画整理が進められている地区から、道が狭く住宅が密集している関沢地区、比較的整備されてきた西みずほ台・針ヶ谷地区までの圏域。 駅に近いところや三芳町との境付近にはスーパーなど店舗も多いが、エレベーターがない古い団地やマンションが多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出の移動手段は、「徒歩」が最も多く、また「電車」「自転車」の利用も多い。</li> <li>地域住民有志の健康づくりや趣味活動への参加希望は男女とも多く、65～74歳の女性で「すでに参加している」人の割合が最も多い。</li> <li>近所の方との付き合いでは「何か困った時に助け合える付き合い」の割合が最も低い。</li> <li>地域でどんな支援ができると思うかについて「配食の手伝い」が多い。</li> </ul>	5,451 (24.4%)	2,091	介護予防給付 57 (うち、委託 28)	5	地域密着 特養 1 グループホーム 1 有料老人 ホーム 1	病院 1 クリニック 14	歯科 9 薬局 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅に近いマンションの中でも老朽化が進んでいるところもあり、特にエレベーターのないマンションでは、住み替えの問題やゴミ出し、外出支援の問題があげられている。</li> <li>圏域内に新しくスーパーが出来ても、道幅が狭く坂道が多い密集した住宅街からでは、高齢者が移動しづらい状況もある。</li> <li>地域住民有志の健康づくりや趣味活動への参加意欲は男女とも高いが、その活動の企画・運営への参加希望は低くなっており、自主的な活動づくりが難しい。</li> </ul>
第5圏域 ひだまりの 庭むさしの	みずほ台駅近辺の中層マンションが多い東みずほ台地区と、区画整理後から居住した新しい住民と以前から住んでいる住民とが混在している水子地区、古い住宅が密集する貝塚地区、バイパスを越えて生活実態が志木に近い水谷東・榎町地区と、地域性がそれぞれであり、高齢者人口が最も多い圏域。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族と同居している割合が他の圏域に比べて高いが、「日中に一人になる」ことが多くなっている。</li> <li>外出の移動手段は、「路線バス」が他の圏域に比べて最も多く、また「人の自動車に乗せてもらう」割合も高い。</li> <li>他の圏域に比べて、「趣味や生きがいがない」方が多いことも影響するのか、「物忘れが多い」と感じている方が多い。</li> <li>地域で「たすけあい支えあえるまち」と思う割合が、やや高い。</li> </ul>	6,147 (24.9%)	1,137	介護予防給付 64 (うち、委託 37)	3	地域密着 特養 1 有料老人 ホーム 3	病院 1 クリニック 7	歯科 6 薬局 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>水谷東地区は昔水害にあい、住民の助け合い意識が高く組織化しているので、住民の方から様々な問題や連絡をいただきやすい地区である。今後もネットワークをよい状況で継続していくことが重要である。</li> <li>どの地区でも、問題が大きくなってからの対応となる方も多く、内容も複雑化しているので、支援に時間のかかるケースが多い。</li> <li>坂が一部急勾配のところがあったり、交通量が多く危険なところがあるため、外出困難になった場合の早期の把握ができる地域のネットワークが必要である。</li> </ul>